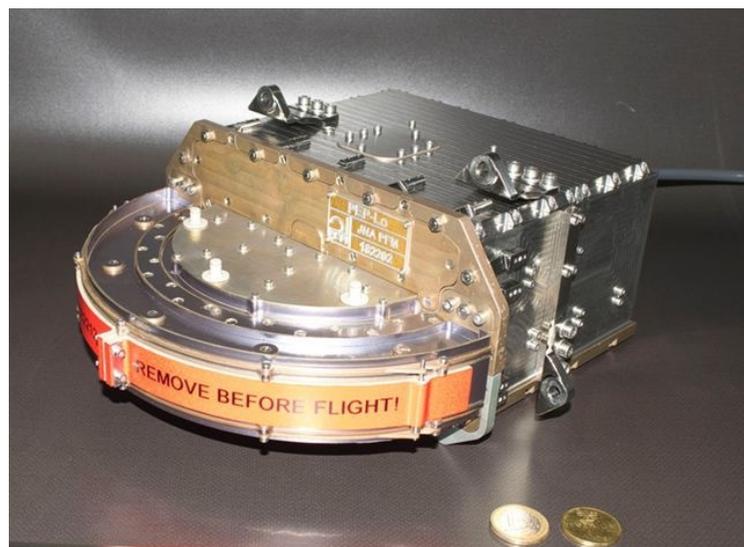


PEP / JNA は木星や、木星の衛星周辺を飛び交う高速の中性粒子を直接計測する観測器です。

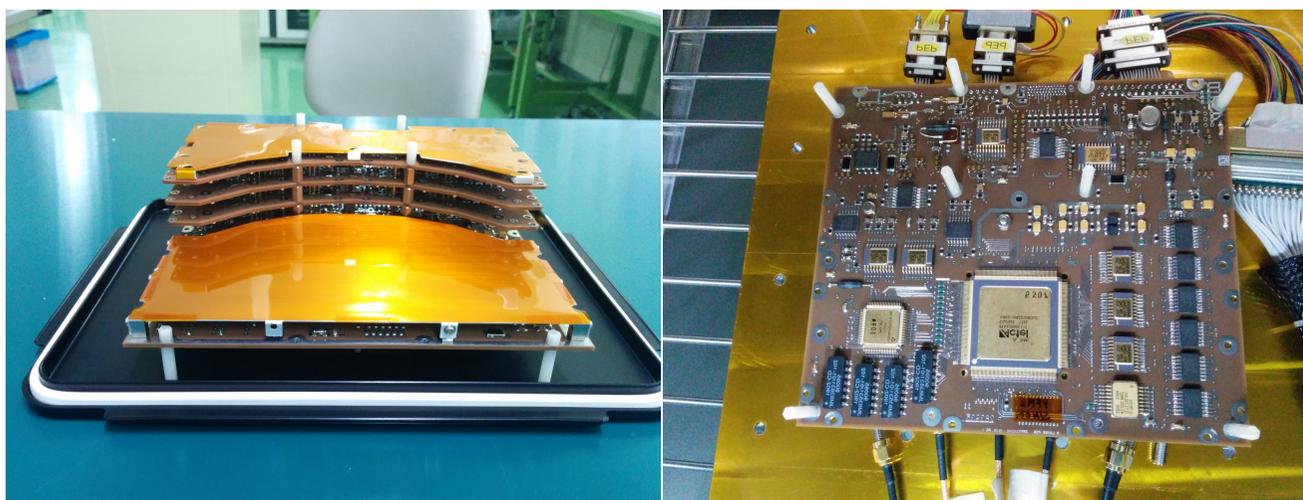
高速中性粒子は、衛星表面に高速のプラズマ粒子が衝突したり、天体周辺の希薄な大気にプラズマ粒子が衝突することによって作られます。

日本グループは、PEP / JNA の電子回路部を担当しています。電子回路部は地上や衛星からの指示を受けて観測器を制御し、また、観測信号から入射粒子の質量やエネルギーを割り出したり、データを衛星にわたす役割も持っています。

	性能
観測対象	高速中性粒子
エネルギー範囲	10 eV - 3.3 keV
エネルギー分解能	~100%
粒子質量計測範囲	1 - 32 amu
視野	15°x150°
角度分解能	7deg x 20deg ~25deg (11分割)
時間分解能	15秒 (変更可能)



PEP/JNA 外観



PEP/JNA 日本側担当部分